

| | | | | |
|----------|----------------|----------|-------------------|----|
| 会員数 | 94,086 | (前月比) | - | 32 |
| 手配り | 29,035 | (前月比) | ± | 0 |
| 郵送 | 9,125 | (前月比) | + | 59 |
| 会員世帯数 | 40,978 | (2/29現在) | [前月比 4増] | |
| 協同基金到達額 | 2,438,068,000円 | (2/29現在) | [前月比 1,9414,000減] | |
| 協同基金出資者数 | 22,479名 | (2/29現在) | | |



発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円

いのちと平和のつどい



西谷文和さん



今も戦闘が続くウクライナの状況も語られました。「中村哲さんの生き方に深い感銘を受けた」「武力で平和は守れないと実感した」「ウクライナのこと、イスラエルのことよくわかった」「マスコミの本来の在り方の話は印象に残った」「日

2月15日、いのちと平和のつどいを開催、120人を超える参加者で会場は超満員となりました。
第1部は、アフガニスタン・パキスタンで35年にわたり、病、戦乱、干ばつに苦しむ人々に寄り添い、用水路を引き荒れ地を緑の大地に変えた中村哲医師のドキュメンタリー映画「荒野に希望の灯をともし」の上映会。
第2部はイラク・シリアなど中東を中心に取材しながら、戦争のリアルを発信するジャーナリスト西谷文和さんの講演会。

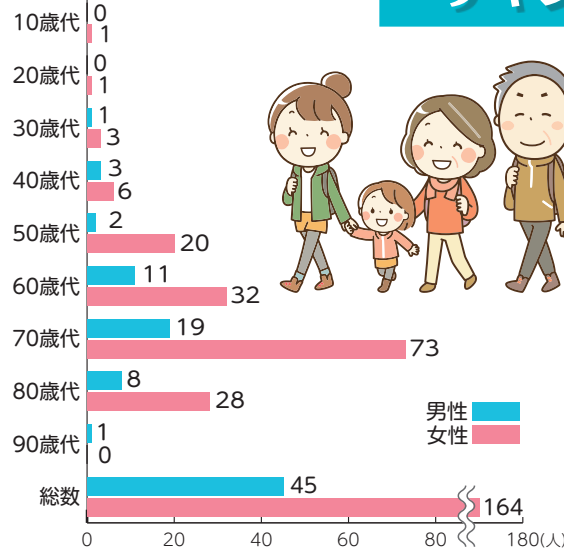
戦争に反対していのちとくらしを守ろう

2月15日
みみはらホール
120人の参加

本は、平和の輸出国であるとの言葉はその通りだと思った。「平和やいのちを守る講演や映画会を企画して欲しい」などの感想が寄せられました。
(事務局)

ウォーキングチャレンジ

年代別実施者 (結果報告提出)



目標があると頑張れる

2回目となる今回の年末年始ウォーキングチャレンジ2023は、前回(100名)の2倍以上、209名のかたからの結果報告がありました。参加者は男性が2割、女性が8割と女性の割合が前回から1割増え、70歳代女性が全参加者を通じて一番多く参加されています。
前回から大きく変わった点は、65歳以上の歩数目標が8000歩から

も多く、今後の運動習慣の継続や、今回のチャレンジへの参加意欲につながったと期待できます。
今回目標歩数にあげられたかたが多かった1日6000歩を目標に掲げ、参加の伸び率が大きかった70代女性に対し働きかけることで、次回さらに、広く参加していただけるイベントになると感じました。
(健康運動指導士 田中則兵衛)

6000歩になる、自己申告の目標でも参加できるようにするなど、参加の間口が広がったことが挙げられます。
女性の参加動機に多かった「目標があったら頑張れる」、男性のアンケートにも多かった「生活のなかで意識する」ということを、チャレンジを通して感じたかた

第37回 総代会のご案内

2024年度の健康友の会みみはら総代会を以下の日程にておこないます。

日程：5月25日(土) 13時30分～16時
場所：みみはらホール
参加対象：各支部からの代議員 (26支部)
内容：2023年度到達の確認
2024年度方針の確認
役員選出

※支部では、総代会までに支部総会及び議案書確認をおこなってください。

聴診器

学生時代を石川県で過ごしたから能登は思い出がいっぱい。サークルの合宿は毎年口能登、富来の海だった。障がい者の施設訪問活動をしてきたから勉強会が中心で休み時間は海で遊び、夜は肝試しをした▼1998年富来町の南に志賀原発ができた。2016年直下の断層が判明しその後有識者会合が活断層だとしたが、北陸電力が反論資料を出し規制委員会が同意し再稼働可能となった。今回の地震で奥能登珠洲、輪島市では道路が寸断、海側は隆起し船は近寄れなくなった。能登空港の再開は10日後で、原発事故が起きれば緊急避難は不可能だった。外部電源を一部喪失し全電源喪失に至れば福島と同じことが起きたらどう。珠洲市は住民が2003年、原発計画を止めた▼同級生と車で半島を一周したことがある。突端の緑剛塔では波が、洗濯板状の岩の2カ所に開いた隙間を通り抜けた後重なり合う美しい干渉現象を見た。その南の見附島(軍艦島)では突然一人が泳ぎ出した。澄んだ水に思わず飛び込んだのだ。残念なことには地震で格好のいい船形を失ってしまった。白米千枚田、創業400年のランプの宿、揚げ浜式塩田に行きたい。生活も観光も医療も、早い復興を願うばかりだ。(和)